

基調講演の感想をお聞かせください(189 件の回答)

- とてもためになりました。
- LIVE 配信が良かった。講師の熱意が伝わってくる。PC なので資料(ppt)を見やすい。
- 興味深いお話でした。
- 杉岡さんの存在を初めて知り感動しました。文章を読んでさらに勉強したいと思いました。
- 大変参考になりましたし、面白く拝聴させていただきました。ホームページの方も見させていただこうと思います。
- 山のこと、杉という樹種のことを地球規模から歴史・文明・文化など様々な視点で触れていただき、興味深かった
- 杉の魅力について改めて詳しく教えて頂き、とても勉強になりました。居心地の良い住まいを考えると睡眠と香りが大切さであるというお話が印象に残りました。
- 近いようで実は遠い林業に携わられる方のお話は大変興味深かったです。昨今のウッドショックでにわかに地場産の木材に注目が集まっている現状ですが、流行りに囚われず日本の自然や産業の循環をもう一度皆が考える時にきているのだと思います。杉岡先生の取り組みについても深掘りしていけたらと考えております。
- 杉や木材に対しての新たな想いが沸いてきました。建築を建てる時も、もっと丁寧に木や杉材を使って行こうと思いました。
- せっかくのお話しがオンラインで残念でした。
- 内容は興味深かったのですが、基調講演を1時間半ウェブで視聴するのは、なかなか忍耐が必要でした。会場で直接なら感じないストレスがあるということに気が付きました。
- 歯切れのよいお話で、聞きやすかったです。設計の中で可能な限り木を使いたと考えていますが、説得材料になるようなことをお聞き出来てよかったと思いました。
- 地震後は地元の木を使って復興に取り組もうと盛り上がったのに対し、水害後は流木が誰かに害を与えてしまったのではと、そうはならなかったという話が切なかったです。木を外壁や内装に使用した仮設住宅の周りだけ、花壇が多いお話や、自宅がパワースポット英気を養い回復する。とおっしゃっていたことが印象的でした。
- 日本建築とは切っても切れない関係にある木について、意外に意識していないことも多く、あらためて考えさせられた。
- 木材の魅力、パワーを感じました
- 材木の木取りの詳細についてしれてよかったです。方丈板倉のような「庭先避難」のような建物があるのは、様々な事象に対応できるのは良いことだと拝見しました。(空いている土地が必要ですが) ウッドショックが話題になっていますが、改めて国内の材木をきちんと使うようにしたいと思います。

<p>➤ 災害、林業、木の文化と全て繋がっていて、未来の森のあり方は 今の私達のあり方が大変重要だと感じました。県産材(杉)を多く使った家づくりをしています。杉の暮らしへの効能がわかり、自信をもってお客様に勧めようと思いました。</p>
<p>➤ 先生の、建築、文化、社会構造等への造詣の深さ、人間的な魅力が感じられる講演でした。</p>
<p>➤ 被災による「もう杉はよか…」を「やっぱり杉は良か」を広めて行けるよう心掛けたい</p>
<p>➤ とても興味深かった。もやもやしていた事が晴れた感じです。</p>
<p>➤ 勉強になりました。建築士が知るべき木挽の知識についてもっと深く聞きたかった。</p>
<p>➤ 杉に対する愛をとて感じた。杉について、山について木についてもっと勉強してみたいと思った。建築士でありながら被災住宅は木造プレハブ住宅で十分だと感じていた。ところが杉野被災住宅を見て「これは仮設ではない」と感じた。隣に並ぶ木造仮設住宅に住む人がかわいそうだと思う。今回のお話を機会にして木について少し学んでみようと思う。</p>
<p>➤ 素敵なお仕事ですね！杉材の魅力を改めて感じました。私も将来的に「斎」に住みたいと思いました。</p>
<p>➤ 素晴らしい人がおられることを初めて知った。もっとお話を聞きたいと思いました。</p>
<p>➤ 林業と漁業の例えは大変分かりやすかった。 流木を利用した取り組みは非常に素晴らしいと思った。杉について色々理解できた。</p>
<p>➤ 山を、杉を愛する情熱がヒシヒシとよく伝わった。悪者扱いの杉山、結論がよく分からなかった。”おかえりモネ”のお陰で宮城県のエコ林業が見直され、結構盛り上がっておりますよ。</p>
<p>➤ 木の事を徹底して研究されていて驚きました。杉の種類が沢山ある事に驚きました。</p>
<p>➤ 木材を使用する奥深さを、感じました。木に対する情熱がとても良く伝わり良い講演でした。ありがとうございました。</p>
<p>➤ 楽しみにしておりました。冊子にあったような内容以外の話も聞けてとても為になりました。岐阜県でも応急仮設住宅を木造で作る取組がなされています。昨年見学に行く予定でしたがコロナの為中止になってしまいました。終息しましたら木造でもどんな木造なのか見学に行っておかないとダメだなと思いました。</p>
<p>➤ 杉のお話から、深いお話も聴けて良かったです。特に災害時の人の感情や、社会の反応にきちんと向き合う姿勢に、頭が下がります。現在の取組もご紹介いただき、とても良かったです。ありがとうございました。</p>
<p>➤ 杉岡様の講演は長かったのですが、もっと聞きたくなるような内容でした。低温乾燥と杉の香りが特に興味深かったです。</p>
<p>➤ 勉強になりました。</p>
<p>➤ 身近にあり過ぎて、ある程度の杉の良さは認知していましたが、改めて杉の良さを学ぶことが出来ました。人体に与える影響のマイナスイメージが大きすぎたというのがありますが(花</p>

粉症なので)、今後はリラクゼーション効果の方にももっと目を向けていかなければと思いました。

ただし、、、どうしても木材はメンテナンスに費用が掛かりすぎるイメージで、、、そこがもう少し良い方に進めば、、、とってしまいます

- 豪雨災害によって流出した杉を利活用する気概がすばらしい。気に触れるって大事。
- 真摯に拝聴しました。地球にやさしいではなく地球が優しくしてくれるが刺さりました。
- 現代の木挽棟梁の仕事へのこだわりが伝わってきました
- 山林にも興味があるのでいろいろ勉強になりました。
- 大変興味深くお聞きしました。杉の木が悪者になっているとは北海道まではそのような報道は届かなかったのか全く知らず驚愕しました。また、認知症の防止や睡眠に対しても良い効果が得られることや、杉板を使った仮設住宅の周囲を住民が美しく植栽していた事に感銘をうけました。北海道の東部にすむ私自身には杉は建築材料としてもそれほど身近ではないのですが改めて木の持つ力を知ったように思います。
- 豊かで長く素晴らしく、目さきの事にうろついている自分と比べてしまいました。
- 木材について改めて発見する事がありました。
- 素晴らしい講演をありがとうございました。大切に管理された木を大切に木取り、低温乾燥して、使うことは 山にも木にも人にも大切であることが 木をますます好きになりました。
- 木に愛情を注いでいるお話を聞いて、とても勉強になり有意義な時間でした。やっぱりすべてに愛情を持つ事が、何事にも良い方向に繋がる道であると思いました。
- 木を通して自然に対する愛情が強く伝わってきました。
- 木の匂いを嗅ぎたくなくなりました。
- とても貴重なお話を聞かせていただきました。木挽きによって木が活かされる、樹齢が切られてからも続くということになるほどと感銘を受けました。
- 幅広い知識と経験の基づいたお話で大変勉強になった。
- 災害や災難に遭っても、立ち上げられる強さ、待っているだけではダメで、自分たちから発信することが大事。結果仲間も増えて新しいことに挑戦できる。
- ⑫の後段で述べた通りです。素晴らしい講演でした。
- あらためて木の良さを考える機会が持ててよかったです
- 非常に論理的に整理され、客観的資料もご提示いただきながらのご講演に引き込まれました。
- 興味深い内容でした。できれば後半の木挽棟梁のされている仕事の話をもっとうかがいたかったです。
- これから、杉を見るたびに杉岡さんを思い出さそうです。古の情緒的なお話から最新のデータ

まで知識が幅広く深い方だと思いました。日頃、目の前のことに追われてじっくり取り組むことが出来ずにいたることにも、どん欲に取り組まないといけないと思いました。杉の清潔感、スマートな感じを表現できる設計者になりたいと思いました。

- 木に対する想いの熱量がすごくて話しのリズムも軽快で聞きやすく惹きつけられました。
- もっと話を聴きたい、と思いました。木材に親近感が湧きました。
- 住宅などは工業製品になってしまっている中、木から考える住まいの大切さや意義を再確認することができました。
- 充実した内容でもっと時間があればよいのにと思った。講師のHPでさらに学習したいと思った。
- 大変勉強になりました。講演の中で杉岡さんがおっしゃっていた、「何十年、何百年と木が育った以上に長寿命な建物に使いたい」という言葉が印象に残りました。木造の建物に携わる設計者として、同じ心構えで仕事に取り組みたいです。
- 林業・製材のお話はタイムリーで引き込まれるご講演でした。講演時に使われた画面資料の配布(データでも)があったらよかったですと思いました。
- 木の魅力が伝わりました。子どもの頃叔父の製材所に遊びに行ったことを思い出しその時の製材所のおいを思い出しました。
- 魚屋さんという楽しい例えや、実例などの具体的なお話がとてもわかりやすかったです。
- 日頃の業務において柱梁を表す家づくりを意識していますので、今回の木挽棟梁杉岡さんの講演は大変勉強になりました。ハウスメーカーの画一的な住宅が供給され続けていく中で、杉岡さんのような想いを持った方たちが協働して、住む人にも使う人にも環境にも優しい建築が増えていくことを願っています。
- 神話や和歌などを織り込み情熱的な講話がとても面白かったです。近所で大好きな場所である羽黒山が出てきて講師が絶賛されていたのでうれしかったです。
- 感激です
- とても面白く、興味深いお話でした。新聞の連載記事、ゆっくり読ませていただきたいと思っています。
- 杉岡さんのお話は途中からでしたが拝見でき、良かったです。内容はとても分かりやすく、後日、録画を最初から拝見させていただきます。
- 面白かった。基調講演は、オンライン配信でも十分だと思った。
- 電話がかかってきたりして、聞けてない部分があるので、後日動画が配信されるのであればその部分を確認出来ればと思います。
- 現代の木挽棟梁とは？と事前の知識がなかったのですが、沢山の興味深いお話を次から次へとお聞きすることが出来て、頭がパンパンになりましたが気持ちの良い時間でした。真摯に木

と向き合う姿勢と熱量がオンラインでしたがしっかり伝わりました。ありがとうございました。
➤ いろんな観点を教えてくださりありがたい。継承されていくべきと思った。個人的にはあの老眼鏡が素敵で気になりました。
➤ とても良い企画で勉強になった。講師の杉岡氏の熱い思いが伝わってくる内容だった。
➤ 木材への思いが伝わってきて、こちらで改めて木材の使い方を考えたいと思いました。
➤ 天然乾燥と低温乾燥の組み合わせで、含水率 10 パーセント以下にできることを初めて知りました。現代の木挽棟梁が育てている山をぜひ見学したいと思いました。
➤ 基調講演の杉岡様の講演については、最近の中大規模木造建築物の建設推進に関わる木の文化の考え方は建築士会会員の教養的、技術的な木育として建築士会員の教材として活用して欲しいです。
➤ ホールに展示物のように収まった木造建築が印象的です。「木」の香りが、気持ちを落ち着かせる「森林浴」の元か。
➤ 違う視点で森林を見れました。ありがとうございました。
➤ 温暖化問題も含めて 森林、木との問題 関わりの重要性を感じた。
➤ 日本にたくさんある木々の種類と量。外材に頼らず、多様なニーズに充分答えられると思います。もっと真剣に山の木に関心を持ち、手入れをして利用にこぎ着けなくては。そのためには杉岡様のような方にもっと発言の場を設定して行かなくては。そのために建築士としての力を発揮しなくてはと思いました。
➤ 木が古代から日本人にとって大切なものとされてきたことがよく分かった。
➤ 直接お聞きしたいと思いました。
➤ 杉岡さんの要旨集の内容から進化した講演はすばらしかった！木挽きと魚屋の例えがわかりやすかった。
➤ 現代の木挽き棟梁としての厚い思いに耳を傾けることができとてもよかったです。木の持つ力を改めて勉強させていただきました。
➤ 内容はとても興味深かったですが、途中数分間別の音声が入ってしまい、講演者の声とだぶっていいところが全然聞きとれませんでした。すぐ解決してほしいです。アーカイブでも同じでしょうか。もったいなかったと思います。
➤ 改めて木の良さを感じました。 どうしても簡単に手に入る材料を選びがちなので、木を取り入れていく姿勢を持ちたいと思います。 周りの理解を得るのが難しいですが。
➤ よかった。木の魅力を改めて確認できた。
➤ 私が勤めている工務店も、杉材を構造材から床板・壁材とふんだんに使っているの、杉岡さ

<p>んのお話はとても興味深かったです。</p>
<p>➤ 林業について、改めて奥深いなと感じました。 知っているようで知らない事ばかりで、とても考えさせ勉強になりました。</p>
<p>➤ 午後のプログラムは打合せの為視聴できませんでしたが、後日の配信を楽しみにしています。</p>
<p>➤ 為になりました</p>
<p>➤ ウッドショックの中、日本の林業を改めて考えさせられました。 無垢材の木製建具の魅力についても感銘を受けました。 川上の林業が守られてこそ、川下で暮らす私たちの暮らしも守られると聞きます。 日本の林業を守るためには国の政策も必須になっていると思います。</p>
<p>➤ 日本の林業は衰退していると感じていたが頑張っている人がいる。健全な山であれば災害も減るのではと思いました。伝統的なものが見直されてきている中、家も日本の木を使って自然と共生できる家づくりまちづくりを次世代に繋げていきたいと感じた。</p>
<p>➤ 少し熱がこもり過ぎの感があったが、非常に役に立った情報だった。</p>
<p>➤ 普段の仕事では本格的な木造建築に取り組む機会がないので、大変貴重なお話が聞いてよかったです。また日々の暮らしを振り返る気づきもありました。</p>
<p>➤ 国産材の活用、杉材などの内装使用などもっと進めていきたいと思いました。</p>
<p>➤ あらためて木の生育や性質も学び、地域に根差した林業と建築業の連携の大切さも再認識しました。一番のパワースポットは自宅であるべきというお話が印象に残りました。</p>
<p>➤ 木と住まいそして繋がりへの杉岡さんの熱いお話が聞いて、改めて日本の建築の今後にしっかりと向き合っていかななくてはならないと考えさせられました。</p>
<p>➤ 設計業務の中で、幼稚園で内装木質化すると、劣化した場合にささくれなどが出来て危ないなどの懸念をされることがありますが、杉岡さんのお話を聞き、杉の香りや、肌触りを子供たちにも感じてほしいと思いました。</p>
<p>➤ 正倉院の写しを制作中のことや方丈板倉のお話をもう少し聞きたいと思いました</p>
<p>➤ 日ごろ地場産材を使用していますので、とても参考になりました。</p>
<p>➤ NHKの朝ドラも森林の話がでてきて、ちょうどタイムリーな話を聞くことができ興味深かったです。木の香りで眠りが深かったり、勉強がはかどったりといいこと尽くしだと思いました。</p>
<p>➤ 木の素晴らしさ、美しさ、心地よさ、機能性などなど、より一層のお話を聞いて勉強になりました。木造建築を主としている私にとって興味深い内容ばかりで、杉岡さんのお話をまた聞きたいと思います。杉の香り、最高です！</p>
<p>➤ 木に対する見方や考え方が少し変わりました。大変参考になる講演でした。有難うございました。</p>

➤ 貴重なお話でした
➤ 木の香り、感触、食感と話をされていて、木は五感で感じる良い事の方が多いなと改めて考えさせられました。難しい事より身近な事で木の良さを伝えて行ければと思いました。
➤ 杉岡さんの木に対する熱い思いを感じました。改めて木造を良さを再確認しました。
➤ 私も木造の設計に携わることがありますが、木材「=部材」の調達の問題はなかなか分からないところです。「山の木」という考えで木造をとらえる、何か視野が広がったように感じました。九州に杉の品種が多いこと、杉の性質、木取りの話、そして朝倉の流木による「杉が悪モノ？」というところから、日本人の文化と杉との関わりにまで深く掘り下げられた論考には大変に興味をそそられ、ものすごく面白かったです。文明と文化の対比の話も興味深く、あっという間に講演が終わりました。杉岡先生のお仕事や著作をもう少し学びたいと思います。
➤ 木を広い視点・体験でとらえられた説明で、自分も何か実践したくなった。
➤ 資料とは別のお話も聞けて良かったと思います。
➤ とても興味深い内容であっという間に感じた講演でした。
➤ 日本文化にとって木を活用してきた歴史は、とても大切なことだと思っています。又、木が与えてくれるセラピー効果も、又、不思議なことでありますが、やはり本物の木の力は計り知れないのだと再確認しました。コロナで外に出て活動できなく息苦しさを知ったからこそ、建物の中に自然を取り入れたいと強く思います。機会がありましたら、一緒に森を歩いてお話を伺い、勉強させて頂きたいと思います。貴重なお話を伺えて楽しかったです。ありがとうございます。
➤ 普段、鉄骨造や鉄筋コンクリート造の設計ばかりしている身にとって、とても新鮮な講演でした。
➤ 樹の素材としての良さを広める必要があると感じました。一般の人はプリントのものと本物との違いを理解できていないかもしれない。見た目だけで判断せず、森からのことも視野に入れる人を増やしていかななくてはいけないと強く感じました。
➤ 現場で直接自分の目でみに山へ行きたいと思いました
➤ 普段では聞けない様な内容であり、興味深かったです。
➤ こだわりをもって実践されてきた内容の講演は、引き込まれることがあった。
➤ 木材の災害現状を身近に触れることができ、甚大な被害が山々で起こっている様に驚き、流木土砂(まさ土)の恐ろしさに息をのみました。日本は古来より杉の良さを生かした使い方をしていたはずで、それに再注目をして、差違というコンパクトな建物や、特性を生かしたデザイン、あぜ倉作りの良さを後世に残しつつ楽しく取り組んでいらっしゃる様子に感銘しました。私も頑張らなくてはと思いました。ありがとうございました。
➤ ほぼ杉に関する内容で、他の樹種の動向も知りたいと思いました。

<p>➤ これから木造の建物、木の仕上げなど使用頻度が上がってくると思われるので木に関することは興味を持って聞くことができた。</p>
<p>➤ 共感できる論点が多く、林業と建築を繋ぐ役割を発信し続けている姿勢に感銘を受けた。</p>
<p>➤ とてもよかった</p>
<p>➤ 杉岡さんの話はとても興味深く聞くことができた。</p>
<p>➤ 引き込まれる話し方で、楽しく参加できました。</p>
<p>➤ 木の見方が変わりました。林業に携わる息子や、工務店、材木屋さんにもぜひ見てほしいと思いました。</p>
<p>➤ 残念ですが、時間の都合上見るができなかった</p>
<p>➤ いい講演でした。エンドユーザーとのコラボレーションがもっと増えるといい。</p>
<p>➤ 杉の仮設住宅を知れてよかった</p>
<p>➤ 建築にとって切っても切れない「木」を知るうえで 大変奥深く そしてわかりやすくお話頂いて勉強になりました。</p>
<p>➤ 講演の中に「災害、林業、木の建築はひと繋がり」とありましたが、山を大切にしてお木を使うことが水源涵養林にもなり、災害から暮らしを守ることになると思いました。</p>
<p>➤ 日頃から杉岡さんの杉のお話を聞いているので、そのお話を広く聞いていただけてうれしい気持ちです。「方丈板倉 齋」は本当におごそかで、気持ちが整う、素敵な空間なので、ぜひ体感していただきたいです。</p>
<p>➤ 力強く、わかりやすいお話し方で、楽しく興味深く伺いました。日本はこんなに木があるのに、災害対策の研究の遅れやウッドショック！日本の木を大事に活動をされている杉岡氏に感激いたしました。</p>
<p>➤ 建築空間を考える木の文化 ～木挽棟梁のモノサシ～ とても感動しました。 日頃建築設計に携わっているものとして、木造一般的な知識は持っていると思っていましたが、最近は集成材とプレカット、狂いは少なく工期は短くそんな住まいづくりになれてしまっていました。 もっと木材のことを知りたいと思いました。 「方丈板倉 齋」の建築 興味深く拝聴しました。</p>
<p>➤ 一度お話を伺ってみたい杉岡さんが講師ということもあり、今回参加しました。杉愛が感じられて良かったです。日本の林業の持続可能性、川上川下を繋ぐことは、これからの環境問題の解決には不可能です。建築士一人一人が、自覚を持って取り組んでいければと思います。</p>
<p>➤ とてもお人柄の伝わるご講演で、杉のこと、木のことを考えるよい機会となりました。私のル</p>

一つでもある九州の地形(分水嶺等)も知ることができました。災害後の杉岡さんの苦悩も伝わりました。ぜひ山に遊びに行かせてください。ありがとうございました。

- 4-2 分科会もそうですが、改めて木材の良さを実感しました。私はコンクリートのマンション住まいですが、木造建築にはとても興味があるし日本特有の素晴らしさを感じます。
- 木造については、あまり分かりませんが、一本の木からどのように材料を取って行か、木の習性とか自分自身が木造に関わっていたならばより参考になったのではないかと思う講演でした。木や山に対する愛情深い講演と思いました。
- 国産材を活かす活動をもっと知りたい。国産材がいつでも使える日本になってほしいと思いました。
- 身近な木材の内容で理解しやすい内容でした。
- 大変面白かった。
- 講演の合い間に講演内容に関するスライドや映像が欲しかった
- ワクチン接種による体調不良で残念ながら聴けませんでした。
- 杉岡さんのお話の内容がとても良かった。福岡会場で参加できなかったのが残念だった。
- 木をよく使う仕事をしたいと思っているので、今までにない視点から物事を見ることができてとても面白かったです。ありがとうございました。
- 杉材の良さを改めて感じることができました。よい講演でした。西日本新聞をもう少し大写ししていただきたいかったです。全文は読めなくても見出しもよく見えなかったのです。こちらで、操作できたのでしょうか？
- 偶然とはいえ、このタイミングでこのようなお話を聞いた事に感謝します。現地で直接お話を聞く事が出来なかったのが少し残念でしたが、機会があればまたお話を聞きたいです
- 木材関連の方かと思いましたが、大学に関連されており、大変わかりやすい説明で良かったです。実際に現地でお聞きできなかったのが、残念でした。
- まずは、土砂災害で被害に遭った杉材で杉の葉を作られていたことに驚きと関心でした。また、『万丈板倉 斎(さい)』は誰でも欲しくなったのでは？と。だって、このコロナ禍ですものね。だって、まさに健全!?!な建物ですものね。庭先避難所としては贅沢な造りと材料かとは思いますが、そこはやはりもとをたどれば、先人の知恵というか、昔の人達の知恵が詰まった建物ですよ、この構造は。神社はこんな造りですものね。
しかも解体・移築が可能な木組みということで、熊本地震での復興支援活動にて建てられたのが初めとはいえ、近年頻繁に起こっている豪雨災害に遭われたところ等は、1階はS造かRC造で駐車場、2階より住居を建てた方が良いのではないかと考えていたのですが、建物を支える(清水の舞台を支えている構造と同じ)木組みは、この高さで階段さえ上げれば、と格好の建物ではないか(大きさや生活する機能としては別問題ですが)と思いました！

また、建具に使用されているガラスと網戸の網以外は、全て木(障子紙も元は木)です。

もし濡れても乾かせばいい！

建築コストはさておき、やはり昔の住宅の床下は風通し良く石場建ち、木材に土壁、漆喰と、全てが自然な材料で造られている。

更には、子供の頃に社会の本で見た高床式住居は見直される時がきているのではないかと勝手に頭の中でぐるぐると考えを巡らせていました。

- 杉岡先生の興味を引き付ける軽快なトークがとても良かったです。
- 建築士会関係者のみならず、基調講演者と同様の地元事業者の方々にも聞いていただければと思いました。木への拘りに感動致しました。
- 林業を取り巻く環境やウッドショックの影響など、全国で同じような事が起こっているのだと改めて考えました。
- 自然にかえる素材を使って建築する。地球に優しい。
- 木挽棟梁(杉岡世邦)のお話では、災害の大きさから杉に対しての人の評価・変化で苦悩したお話や今年深刻化したウッドショックの影響もあり調達することが大変の言葉が響きました。
- とても興味深く勉強になりました。
直接携わっていないと分からない事ばかりですよ。
木材に対する愛情を感じる事が出来ました。ありがとうございました。
- 木挽き棟梁というワードを初めてお聞きしました。大変興味深い内容でした。
- 木挽という職種を今まで知らずにいました、歴史の事も含めて木のことをたくさん勉強できて、大変良かった。
早く理解できないところもありましたが、録画したものを再度見返したいと思います。
そういう意味では、オンライン開催というのは今後も継続した方が良くと思います。
- 大変有意義でした。やはり木造のメリットは人々の心に活力を芽生えさせるのですね！物理的に放散される木の成分はもちろんのこと、やはり目で見て味合うことが出来るのは、木の力ですね！復興住宅の周りをガーデニングにしている例など、とてもリアルでした。
- 木の世界が見えるお話でした。たとえ話が面白くて分かりやすい内容だったと思います。
- 杉岡氏の声がよく通って、内容も素晴らしかった
- 樹齢以上の時間を使えるような使い方をしたいと言っていた事がすごく頭に残っています。杉の神秘を感じました。
- 講演者の木に対する、特に杉へのこだわりと愛情が感じられるお話だった。
- 国産材の上手な利用方法が提示されたように思います。しっかりとした技術の裏付けがあつてこそだとは思いますが。
- 木ざわりを学ばせるという言葉が印象に残りました。子どもに対する教育が建築の未来を握

<p>るのだと感じました。</p> <p>自然乾燥は香りがいいということ。そこの良さを広めることができるのか、私たちも目指すべきことなのかもしれない。</p>
<p>➤ もう少し時間が有っても良いと感じた。</p>
<p>➤ 木の事をとても分かりやすく教えて頂いた</p>
<p>➤ 林業は単に木材を供給するだけでなく災害や生態系にも直結するので、幅広く連携することが必要だと思う</p>
<p>➤ 災害からのレジリエンス、木造建築の可能性のお話が興味深かった。</p>
<p>➤ 自分には難しかった。</p>
<p>➤ 途中で配信が途切れてしまったり、仕事に出てしまったのですべて聴けなかった</p>
<p>➤ 様々な観点からのお話が面白かったです。</p>
<p>➤ これからは、材を見る目が変わるような気がします。</p>
<p>➤ 欠点があっても適材適所で、樹齢以上に長生きできる建物に嫁がせたい。という言葉に、木に対する愛を感じた。</p> <p>一番のパワースポットは自宅でよく眠ること…。人は住まいをつくり、住まいは人の心をつくる。という言葉にはっとした。お客さんに提供することはできているのか、自分の家はどうか。木は奥が深い。</p>
<p>➤ 後半しか見ることができなかったので、後日視聴できれば嬉しいです。</p>
<p>➤ 実際のお仕事だけでなく、災害やコロナなどによる心情もお話頂けた部分が心に残っています。</p>
<p>➤ 普段は製品でしか接触がない木材ですのでこういうお話は俯瞰的な視野の広がりを感じました。伝統的な住宅を建てる余裕も少なく技術の継承も無くなりつつ現況を憂えます。温暖化で昔と気候が変わっても木造に住みたいものです。</p>
<p>➤ わかりやすいことばで話くださり、とても参考になりました。</p>
<p>➤ 昨今のウッドショックによる建築事情を考えながら講演を聞いていました。木造建築大国の日本は林業を大切にしてきたのか？これからは大切にできるのか？とても身につまされる問題です。また、問題となっている無計画な森林伐採の影響で発生する土砂災害などの自然災害が人災であり利益追求が生み出した結果であること。建築業界は未来に向けて何をしなければならないか？問われる時期に来ていることがお話で分かりました。「方丈板倉 斎」の里山建築研究所さんは茨城県つくば市に所在しておりますので、福岡の地と距離を超えて繋がっていることに感動しました。当日質問にありましたように、私も「斎」で家を建てたくまりました。</p>
<p>➤ 木挽棟梁という言葉が今回初めて知りました。</p>

<p>スギの種類が多さに驚きました。</p> <p>木について、土砂災害について、どの地域でも関係のある話で大変勉強になった。</p>
<p>➤ 木の文化、エネルギーに組み込まれている方がいる。でも、今の日本は真逆の方向に進んでいる。この先の自身の生き方を問われていると思った。</p>
<p>➤ やっぱ「木」っていいなと思いました。</p>
<p>➤ とても興味深い講演で、国産の木材がもっと流通して、将来に向けて守っていかなければいけない事業だと感じました。</p>
<p>➤ 沖縄ではなかなか木について考える機会や勉強することがないので、とても貴重でした。</p>
<p>➤ また視聴したいです。</p>
<p>➤ 森の木の乾燥の仕方の違いで、においにも変化があることが分かった。知らなかったことを勉強でき、今後の参考にしたい。</p>
<p>➤ 多岐にわたる話で、もう少し詳しく聞きたいと思う部分があった</p>
<p>➤ 「木挽き棟梁のモノサシ」は技術的なことは基より、杉岡講師の人生において展開していく生き方に強い魅力を感じました。まさに誰もが望む究極のプロフェッショナルです。</p>
<p>➤ 木の良さ、自然素材の良さをあらためて見直しました。</p> <p>実は今、築36年の土壁総檜の木造住宅を建て替えかリノベか迷っていて、建て替えに傾いていたのですが、リノベの可能性も真剣に考えてみようかと思いました。</p> <p>第4分化会の報告と合わせて、板倉造にも関心を持ちました。</p>
<p>➤ 午後から仕事でみれなかったので、アーカイブでみたいです。</p>
<p>➤ 心に残った事は、良質な睡眠。唯物論と唯心論の比較。</p>
<p>➤ 当日、都合で聞けませんでしたので、配信動画で視聴させていただきます。</p>
<p>➤ 木挽棟梁の方から木材そのものの話を聞く機会はめったにないので、初めて聞く話が多く大変おもしろかったです。動画でもう一度確認しながら聞きたいと思います。</p>
<p>➤ 杉岡さんのお話に引き込まれました</p>